



## 平成26年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年3月6日

上場会社名 株式会社 トップカルチャー

上場取引所 東

コード番号 7640 URL <http://www.topculture.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 清水 秀雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 遠海 武則

TEL 025-232-0008

四半期報告書提出予定日 平成26年3月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年10月期第1四半期の連結業績(平成25年11月1日～平成26年1月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年10月期第1四半期	9,102	△3.5	132	△52.5	108	△54.1	45	△43.7
25年10月期第1四半期	9,428	5.9	278	△19.2	237	△21.6	81	△36.7

(注) 包括利益 26年10月期第1四半期 48百万円 (△41.5%) 25年10月期第1四半期 82百万円 (△36.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年10月期第1四半期	3.83	3.81
25年10月期第1四半期	6.80	6.77

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年10月期第1四半期	25,879	7,490	28.7	618.93
25年10月期	24,740	7,532	30.2	622.42

(参考) 自己資本 26年10月期第1四半期 7,429百万円 25年10月期 7,471百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
25年10月期	—	7.50	—	7.50	15.00	
26年10月期	—	—	—	—	—	
26年10月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年10月期の連結業績予想(平成25年11月1日～平成26年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,700	7.7	590	△1.3	560	13.2	300	45.0	25.00
通期	38,500	10.7	1,090	126.0	1,020	236.1	560	385.1	46.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年10月期1Q	12,688,000 株	25年10月期	12,688,000 株
② 期末自己株式数	26年10月期1Q	683,545 株	25年10月期	683,545 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年10月期1Q	12,004,455 株	25年10月期1Q	11,999,555 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、経済政策や円安誘導の効果により、輸出産業を中心に企業業績の回復基調が明らかになってまいりましたが、その効果が本格的に勤労者世帯の所得に反映されるには至っておらず、4月に控えた消費税率引き上げの影響もあって、消費動向の見通しは引き続き不透明な状態で推移しました。

このような状況の中、当社グループは店舗運営力の強化および接客・サービスレベルの向上に取り組むとともに、「日常的エンターテイメント」をコンセプトに新しい発見や感動を味わうことができる魅力ある店舗を目指し、商品力の強化とライフスタイルを意識した提案性の高い売場づくりに注力してまいりました。

この「ライフスタイルの提案の場」を追求するため、当社は数年来大型複合店の出店を推進してまいりましたが、その一環として平成25年11月に埼玉県本庄市に店舗面積1,053坪の「本庄早稲田店」を出店いたしました。同店は、書籍と物販をライフスタイル毎のテーマで括った売り場構成を採用し、次世代の書店の方向性を提示するものです。既存店におきましても、大小さまざまな規模の改装を実施し、お客様が当社の店舗に期待する価値を的確にご提供できるよう努めてまいりました。上記の新規出店1店を加え、当第1四半期末のグループ合計店舗数は77店舗（前年同四半期末は76店舗）となりました。

以上の結果、当第1四半期の業績は、連結売上高9,102百万円（前年同期比96.5%）、同 営業利益132百万円（前年同期比47.5%）、同 経常利益108百万円（前年同期比45.9%）、同 四半期純利益45百万円（前年同期比56.3%）となりました。

### 売上・利益の増減要因

売上面につきましては、当社グループの主軸である蔦屋書店事業において、書籍の売上が伸長し、前年比105.8%となりましたが、レンタル、文具、CD・DVD販売の各部門で売上高が前年同期を下回ったため、同事業の売上高前年同期比は96.8%（既存店93.9%）となりました。

利益面につきましては、仕入原価の見直しに取り組んだ結果、連結売上総利益は前年同期比101.0%となりましたが、大型店の出店に伴って人件費を中心に販売費及び一般管理費が増加し、連結実績で前年同期比106.7%となりました。その結果、連結営業利益は前年同期比52.5%減少し132百万円、同 経常利益は前年同期比54.1%減少し108百万円、同 四半期純利益は前年同期比43.7%減少し45百万円となりました。

セグメントの状況は、次のとおりであります。なお、各セグメントの業績値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

#### ①蔦屋書店事業

当セグメントの第1四半期業績は、売上高8,858百万円（前年同期比96.8%）、セグメント利益は118百万円（前年同期比45.9%）となりました。

主力商品の売上高前年同期比は、書籍105.8%（既存店101.9%）、文具98.6%（既存店93.9%）、レンタル91.1%（既存店90.6%）、販売用CD 70.6%（既存店68.7%）、販売用DVD 82.5%（既存店80.6%）となりました。書籍は、前年度の新店・増床店が通期で寄与したほか、期初に出店した新店も売上増に貢献しました。文具は、話題商品、趣味文具、生活雑貨等のライフスタイルを提案する品揃えが売りに上げに貢献いたしました。定番商品の一部で改廃が遅れました。レンタルは、前年同期と比較

して新作・話題作の商品力が及ばずに伸び悩みました。販売用CD・DVDは、市場全体の縮小傾向が続いていることと、大型タイトルの不在が影響いたしました。

②その他

当セグメントの第1四半期業績は、売上高245百万円（前年同期比88.0%）、セグメント損益は3百万円の損失（前年同期比3百万円減）となりました。

中古買取販売事業は、売上高前年同期比85.0%となりました。中古書籍売上高は前年同期比100.1%と前年並みを維持いたしましたが、ゲーム機の世代交代を目前にしたハードの買控えや既存機種での新作ソフトの減少傾向などを受け、ゲーム売上高は前年同期比80.6%と停滞いたしました。一方、スポーツ関連事業は、売上高前年同期比103.2%となりました。サッカークラブおよびサッカースクールの会費収入は前年同期比97.0%とわずかに減少いたしました。イベント売上が前年同期比143.1%と伸長いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産につきましては、前連結会計年度末比1,139百万円増加し、25,879百万円となりました。これは主に、新規出店等に伴い商品が405百万円、建物が426百万円、リース資産が55百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比1,181百万円増加し、18,389百万円となりました。これは主に、買掛金が70百万円、長期借入金が1,783百万円、リース債務が45百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比41百万円減少し、7,490百万円となりました。これは主に、利益剰余金が44百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績が概ね計画通り推移していることから、平成25年12月5日に公表した第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	919,312	1,691,152
売掛金	185,467	182,408
商品	8,691,637	9,096,799
前払費用	302,575	304,173
繰延税金資産	55,225	34,567
未収入金	249,296	183,276
その他	55,430	52,762
貸倒引当金	△268	△267
流動資産合計	10,458,677	11,544,873
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,799,189	3,229,478
土地	1,487,798	1,487,798
リース資産(純額)	3,604,895	3,660,697
その他(純額)	56,084	53,630
有形固定資産合計	7,947,967	8,431,605
無形固定資産		
のれん	67,401	50,433
その他	44,251	43,835
無形固定資産合計	111,653	94,269
投資その他の資産		
繰延税金資産	245,322	234,661
敷金及び保証金	3,844,337	3,786,100
その他	2,133,574	1,789,249
貸倒引当金	△1,420	△1,420
投資その他の資産合計	6,221,814	5,808,591
固定資産合計	14,281,435	14,334,466
資産合計	24,740,112	25,879,340

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,864,302	3,935,029
短期借入金	2,545,040	1,545,750
1年内返済予定の長期借入金	1,136,092	1,634,044
リース債務	547,360	577,086
未払法人税等	57,648	42,028
賞与引当金	70,000	31,000
未払金	478,721	467,250
その他	1,032,118	947,968
流動負債合計	9,731,282	9,180,157
固定負債		
長期借入金	3,200,351	4,983,931
リース債務	3,232,735	3,248,648
資産除去債務	432,888	464,351
退職給付引当金	100,827	100,827
役員退職慰労引当金	68,278	68,278
長期未払金	327,831	231,622
長期預り敷金保証金	113,686	111,222
固定負債合計	7,476,599	9,208,882
負債合計	17,207,881	18,389,039
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,007,370	2,007,370
資本剰余金	2,303,691	2,303,691
利益剰余金	3,475,496	3,431,384
自己株式	△305,814	△305,814
株主資本合計	7,480,743	7,436,631
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,943	△6,746
その他の包括利益累計額合計	△8,943	△6,746
新株予約権	32,832	32,832
少数株主持分	27,598	27,583
純資産合計	7,532,230	7,490,301
負債純資産合計	24,740,112	25,879,340



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年1月31日)
売上高	9,428,491	9,102,872
売上原価	6,552,450	6,198,815
売上総利益	2,876,040	2,904,057
販売費及び一般管理費	2,597,279	2,771,716
営業利益	278,760	132,340
営業外収益		
受取利息	7,608	6,920
原子力立地給付金	5,426	2,321
その他	11,402	7,515
営業外収益合計	24,437	16,757
営業外費用		
持分法による投資損失	24,299	—
支払利息	41,508	40,252
営業外費用合計	65,807	40,252
経常利益	237,390	108,845
特別損失		
固定資産売却損	60,081	—
特別損失合計	60,081	—
税金等調整前四半期純利益	177,308	108,845
法人税、住民税及び事業税	60,723	32,822
法人税等調整額	33,370	30,116
法人税等合計	94,094	62,938
少数株主損益調整前四半期純利益	83,214	45,906
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1,655	△14
四半期純利益	81,558	45,921

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	83,214	45,906
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△943	2,197
その他の包括利益合計	△943	2,197
四半期包括利益	82,270	48,103
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	80,614	48,118
少数株主に係る四半期包括利益	1,655	△14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年11月1日至平成25年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	蔦屋書店事業				
売上高					
外部顧客への売上高	9,150,526	277,965	9,428,491	—	9,428,491
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	921	921	△921	—
計	9,150,526	278,886	9,429,412	△921	9,428,491
セグメント利益又はセグメント損失(△)	258,647	△301	258,345	20,415	278,760

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古買取販売事業及びスポーツ関連事業を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 (減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年11月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴うセグメント情報に与える影響は軽微であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年11月1日至平成26年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	蔦屋書店事業				
売上高					
外部顧客への売上高	8,858,357	244,515	9,102,872	—	9,102,872
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	991	991	△991	—
計	8,858,357	245,507	9,103,864	△991	9,102,872
セグメント利益又はセグメント損失(△)	118,624	△3,698	114,925	17,415	132,340

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古買取販売事業及びスポーツ関連事業を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成25年11月1日至平成26年1月31日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

商品別販売状況

区 分		前第1四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年1月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年1月31日)		前年同期比 (%)
		売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	
蔦屋書店事業	書籍	4,128,507	43.8	4,366,083	48.0	105.8
	レンタル	1,768,676	18.8	1,611,046	17.7	91.1
	文具	859,922	9.1	848,209	9.3	98.6
	販売用CD	802,416	8.5	566,178	6.2	70.6
	ゲーム	482,216	5.1	416,853	4.5	86.4
	販売用DVD	496,449	5.2	409,642	4.5	82.5
	リサイクル	85,232	0.9	93,913	1.0	110.2
	その他	527,105	5.6	546,429	6.0	103.7
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,150,526	97.0	8,858,357	97.3	96.8	
その他	外部顧客に対する売上高	277,965	3.0	244,515	2.7	88.0
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	921	0.0	991	0.0	107.6
	計	278,886	3.0	245,507	2.7	88.0
合計		9,429,412	100.0	9,103,864	100.0	96.5

(注) 1. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

2. セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

3. 蔦屋書店事業の「その他」は、電化製品、生テープ、図書カード、賃貸不動産収入ほかであります。